CARMATE

5880-70818

RV INNO RV-INNO

IN925 スキー/スノーボードアタッチメント取扱説明書

はじめに

このたびは、カーメイトRV-INNOスキー/スノーボードアタッチメントをお買い上げいただきましてありがとうございます。本品は、スキー/スノーボードを積載するためのRV-INNOシステムキャリア用のアタッチメントです。

本品をお使いになる前には、必ず本書とベーシックステーセットの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書をお読みになった後は、ベーシックステーセットの取扱説明書とともに大切に保管してください。

本品をゆずられる場合は、次に使用される方のために本書も併せてお渡しください。
本書をお読みになられた上で、ご不明な点がございましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

目　　次

はじめに……1
安全にお使いいただくために……2
　必ず守ってください……2
　取付上及び使用上の警告……2
　取付上の警告……2
　使用上の警告……3
　使用上の注意……5
部品内容を確認する……6
取付方法……7
　ステー、バーを車両に取付ける……7
　アタッチメントの取付準備をする……7
　取付位置を決め、ホルダーの高さ調整をする…8
　アタッチメントをバーに取付ける……9
　アタッチメント取付後の確認……10
使用方法……10
　積載前の確認をする……10
　積載する……11
　走行する……13
　アタッチメントを取外す……14
日常のお手入れ……15
保管方法……15
　アタッチメントを保管する……15
純正補修パーツのご案内……16
お問合せ先……16

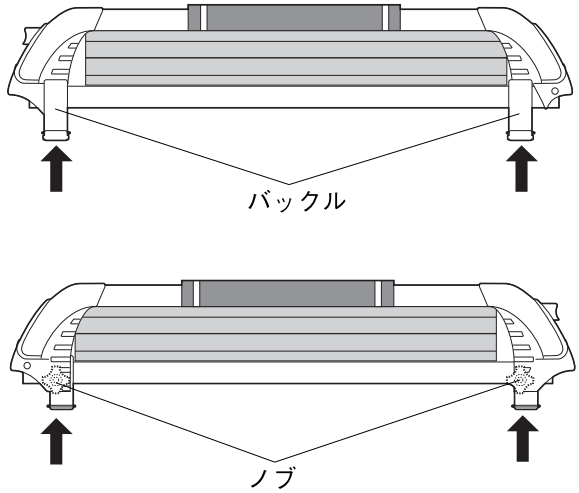
安全にお使いいただくために

必ず守ってください

本品を安全に正しくお使いいただくために、次のことがらを必ず守ってください。

⚠ 警告　警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

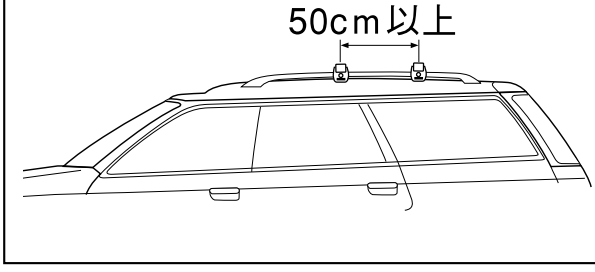
取付上及び使用上の警告



走行前に必ず前後アタッチメント合せて4ヶ所のバックルが確実にロックされていることを確認し、積載物を載せて高さ調整ノブにユルミがないように増し締めしてください。

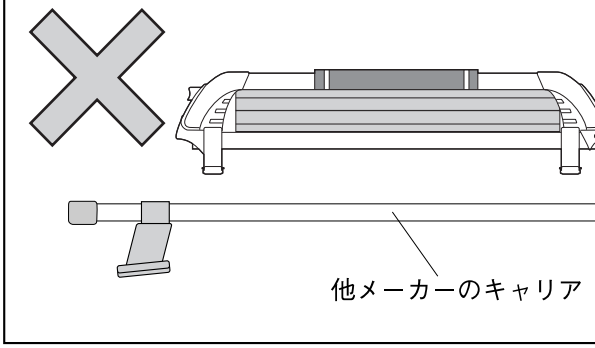
バックルがロックされていなかったりノブにユルミがあると、走行時の風圧・振動によりキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

取付上の警告



キャリアの前後間隔は、50cm以上にしてください。

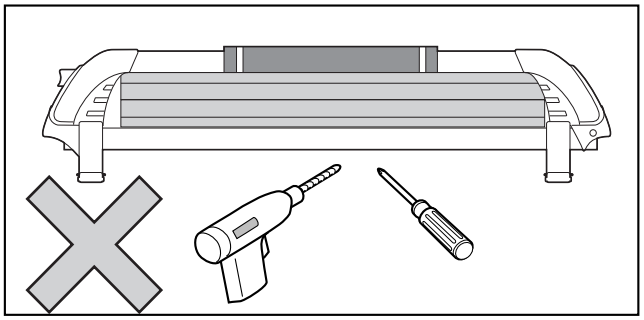
キャリアの前後間隔が50cm未満の状態でアタッチメントを取付けると、 アタッチメントに無理な力がかかることによりキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。また、前後間隔が広すぎると積載物がずれ落ちるおそれがあります。11ページの積載可能スキー、スノーボードの確認手順を必ずおこなってください。



他メーカーのキャリアへの取付けや本品を改造しての取付けはしないでください。

他メーカーキャリアへの取付けや改造しての取付けは、確実な固定ができずキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

取付上の警告



アタッチメントは改造しないでください。

アタッチメントに穴を開けたり、曲げたりする改造を施すと、アタッチメントの強度が低下することによりアタッチメントや積載物が脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

使用上の警告

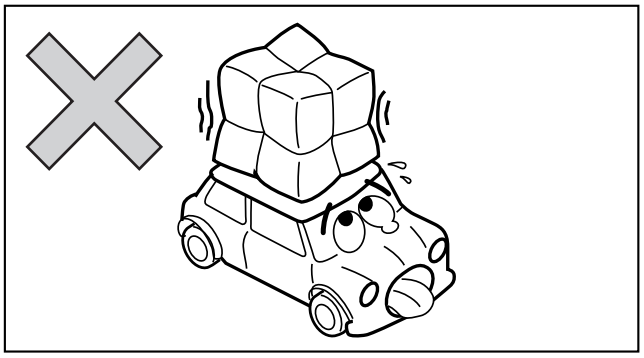
スキー、ストック、スノーボード以外のものを積載しないでください。また下記表の最大積載量を超えた積載はしないでください。

定められた積載物以外の物を積載したり、定められた積載量を超えた積載をすると、アタッチメントに無理な力がかかることによりキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

スキーのみ	6セット※1
スキー十ストック	各4セット※1
スノーボードのみ	4台※2
スノーボード 十スキー	ボード2※2 十スキー3※1

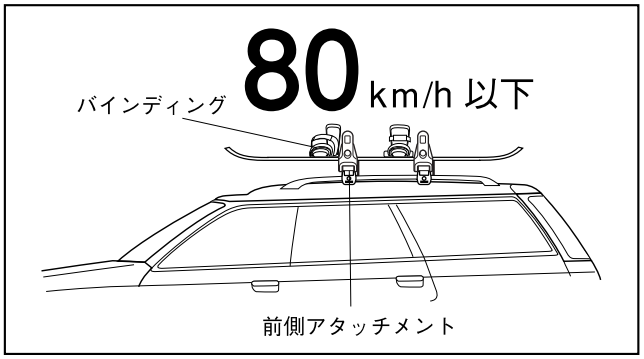
※1 カービングスキー等、スキー板の幅により積載台数が少なくなる場合があります。

※2 スノーボードの積載台数は、車種・バインディングの大きさにより少なくなる場合があります。



最大積載量を超えた積載はしないでください。また、最大積載量は車種ごとに異なります。店頭の車種別適合表にてご確認ください。

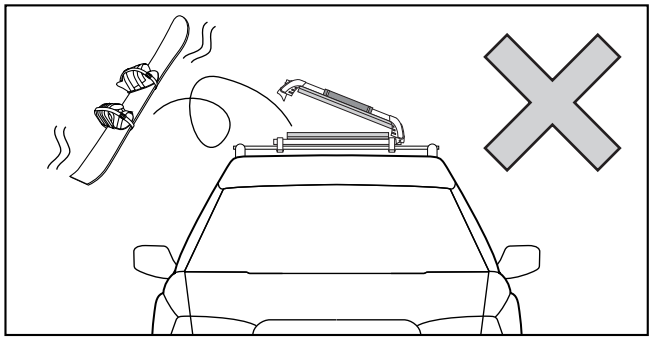
車種ごとにキャリア取付部の強度が異なるため、最大積載量に制限があります。最大積載量を超えた積載をするとアタッチメントに無理な力がかかることによりキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



スキー・スノーボード積載時、バインディングが前後アタッチメントの間に入らない場合は、片方のバインディングを前側アタッチメントの前方に出し、出したバインディングを前側アタッチメントに当たる位置に積載し、必ず80ｋm/h以下の速度で走行してください。

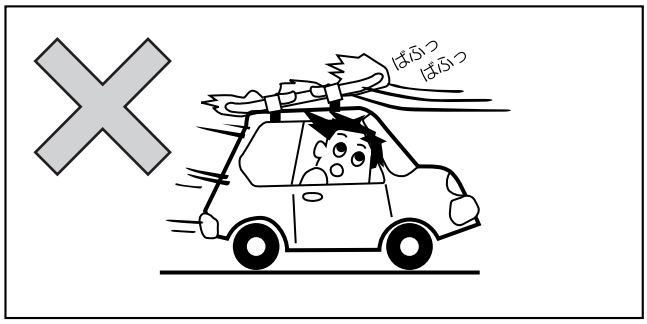
80 km/h以上の速度で走行すると、走行時の風圧によりキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれや、スキー・スノーボードを損傷するおそれがあります。

使用上の警告



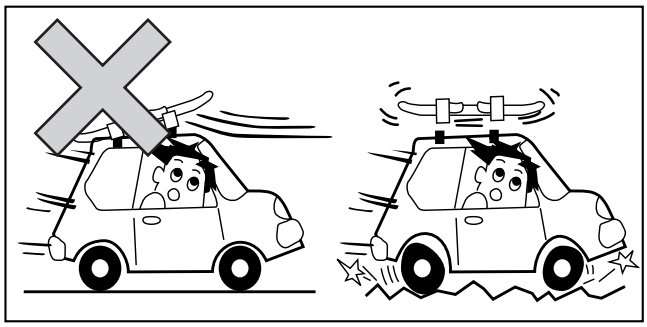
スキー、ストック、スノーボードを積載する時は、必ずクランプアームを確実に閉じてキーをロックしてください。

キーをロックしないと、何らかの外部の力がクランプアームのボタンに加わった場合、クランプアームが開き積載物が脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



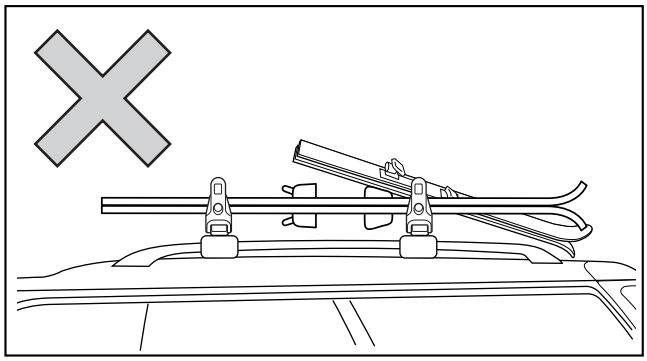
積載時には、スキーケースやスノーボードケース、保護用ビニール袋を使用しないでください。

走行時の風圧によりキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



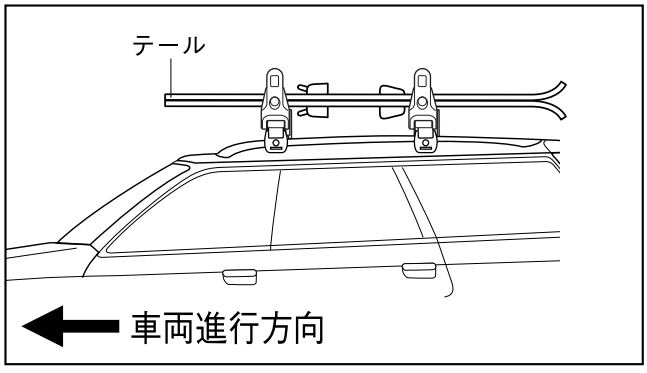
法定速度を守り、強風時や悪路では充分速度をおとして走行してください。

法定速度以上の速度での連続高速走行や強風時の連続走行、悪路走行をすると、ノブのユルミによりキャリアが脱落し後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



スキー、ストック、スノーボードを積載する前に、必ず確認手順（P00 参照）を行い、適合しない場合はキャリアに積載しないでください。

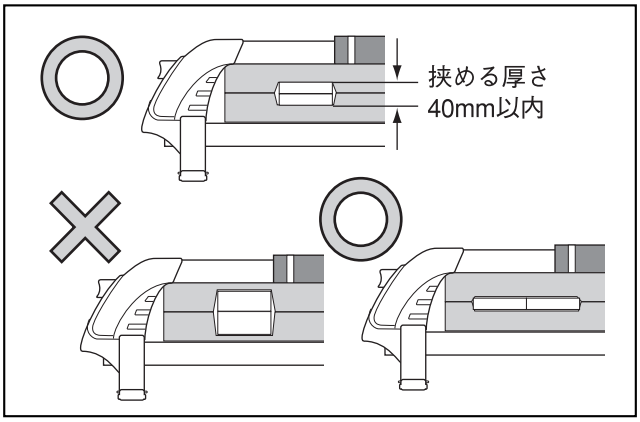
子供用などの短いスキーや短いスノーボードを積載すると、走行中に前後キャリアの間から抜けて、スキーやスノーボードが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



スキーの積載方法

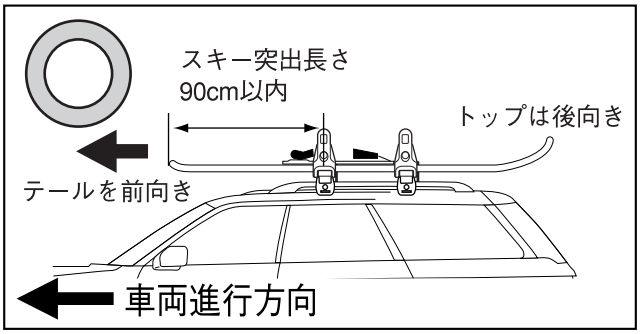
スキーは2枚合わせた状態で、テール側を車両の進行方向に向けて積載する。

使用上の警告



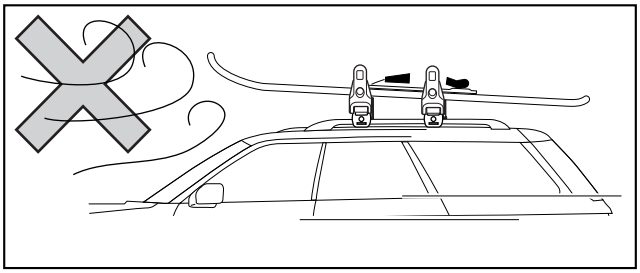
カービングスキー積載の注意

スキーに一体型バインディングやプレートが付いていて、合わせた状態でキャリアに挟めない場合は、スキーを合わせずに、バラして積載してください。



スキー板をバラして積載する場合は、下記の条件を守ってください。

- ●スキーはテール側を前に向けて積載する。
- ●バインディングが前後のキャリアに入らない場合は、前にずらす。
- ●前側キャリアから突出する長さは90cm以内にする。
- ●積載する板の厚みの差は10mm以内とする。

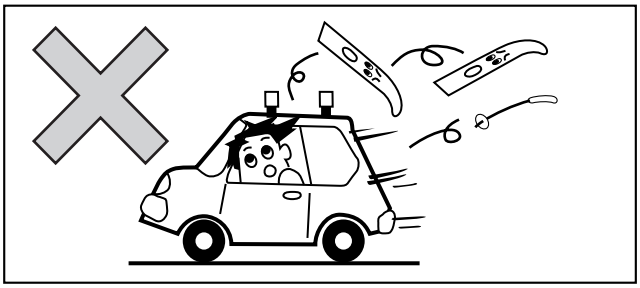


⚠警告

上記条件以外でスキーをバラして積載すると、走行中の風圧等でキャリアや積載物が脱落し、後続車や人を巻き込む重大な事故を起こすおそれがあります。

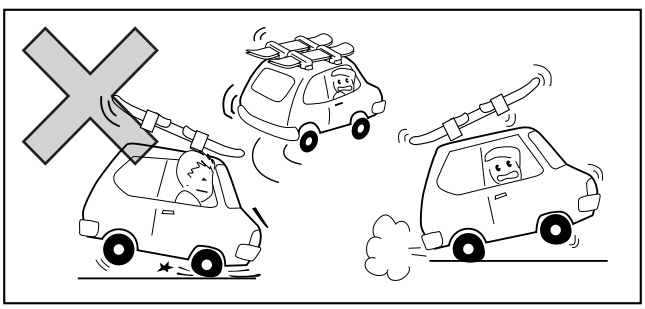
⚠注意　注意事項を守らないと、ケガを負ったり、製品・車両・積載物が損傷するおそれがあります。

使用上の注意



積載する前に、必ず安全確認（使用方法参照）を行い、適合しない場合はキャリアに積載しないでください。

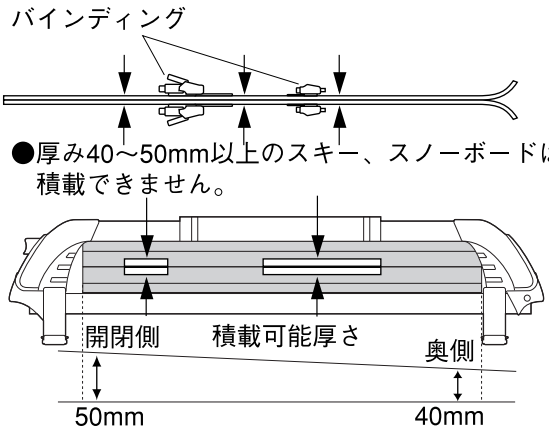
子供用などの短いスキーを積載すると、走行中に前後キャリアの間からスキーが抜け落ち、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



急発進、急ハンドル、急ブレーキはなるべく避けてください。また、やむを得ず無理な走行をした場合は必ずキャリアの取付状態を確認してください。

積載時に、急発進、急ハンドル、急ブレーキをすると、キャリアの取付位置がずれて車両や製品が損傷するおそれがあります。

使用上の注意

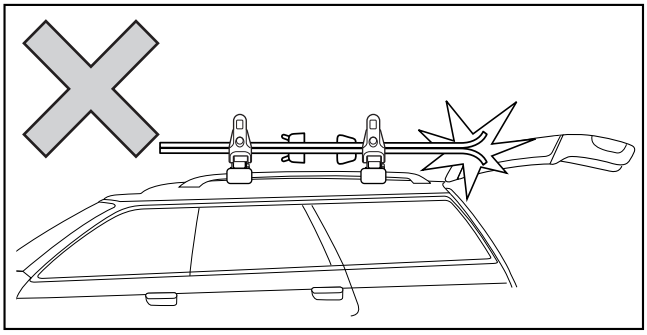


アタッチメントで保持する部分の厚みが2台合わせて40～50ｍｍを超えるスキー、スノーボードは積載しないでください。

定められたサイズを超えるスキーやスノーボードを積載するとアタッチメントが損傷するおそれがあります。

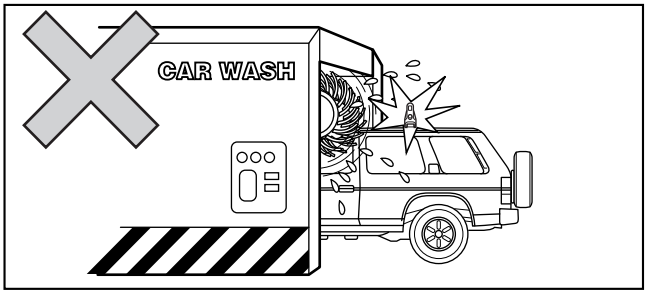
参考

本製品は、手前（開閉側）の方が厚い物が積める構造になっております。厚い板（50mm以内）は、手前に積載してください。



リアゲートやトランクをスキーやスノーボードに当てないでください。万一、当てた場合は必ずキャリアの取付状態を確認してください。

リアゲートやトランクを開ける時に、リアゲートやトランクがスキーやスノーボードに当たると、キャリアや車両が損傷するおそれがあります。



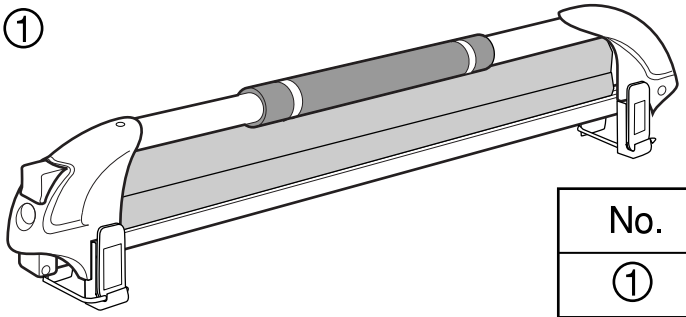
洗車機にかける時は、キャリアを外してください。誤って、キャリアを取付けたままで洗車機にかけた場合は、必ずキャリアの取付状態を確認してください。

キャリアを取付けたまま洗車機にかけると、キャリアや車両が損傷するおそれがあります。

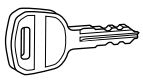
部品内容を確認する

本品には、次の部品が入っています。内容が正しいかどうか確認してください。
万一、不足部品がありましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

①



②



③

No.	部品	数量
①	アタッチメント本体	2セット
②	キー	2個
③	取扱説明書	1部

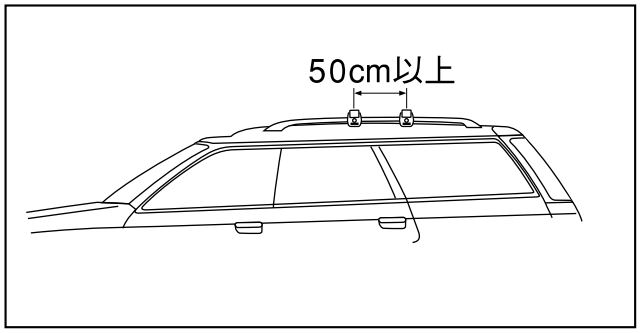
取付方法

本品の取付けは、以下に示す準備作業・取付作業の順に行います。

参考

アタッチメントを取付けるとバーに多少の取付跡が付きますのでご了承ください。

準備1 ステー、バーを車両に取付ける

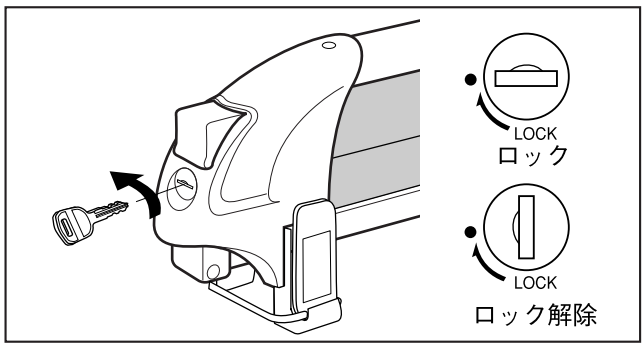


1 ベーシックステーセットの取扱説明書を見て、キャリアの前後間隔が50ｃｍ以上になるようにステーとバーを取付ける。

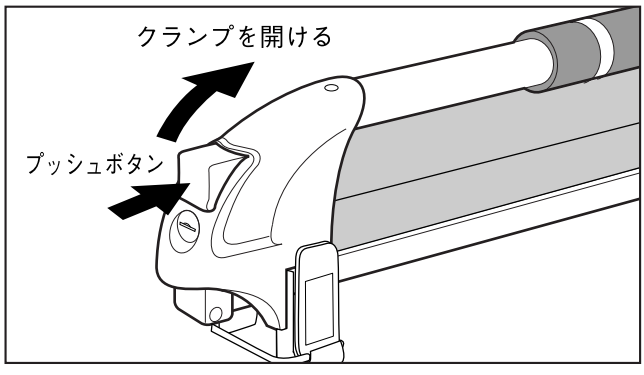
注意

ステー・バーの組立・取付け方法については、ベーシック・ステーセットの取扱説明書をよく読み正しく取付けてください。

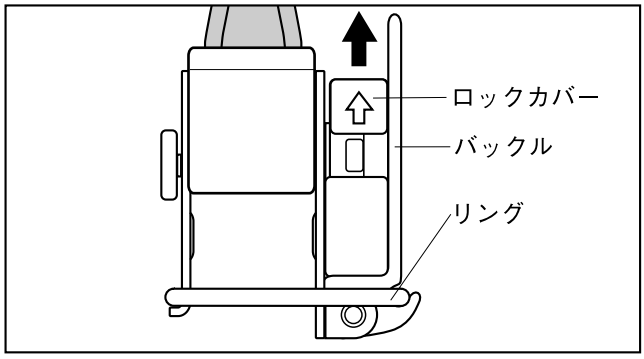
準備2 アタッチメントの取付準備をする



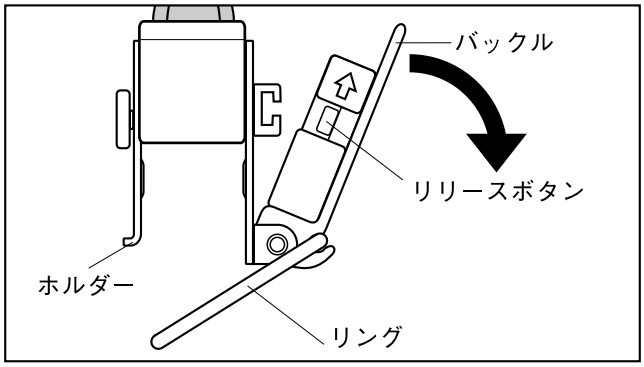
1 カギ穴にキーを差込み、“左”の方向に回してロックを解除する。



2 プッシュボタンを押しながら上方にクランプを押し上げてクランプを開ける。

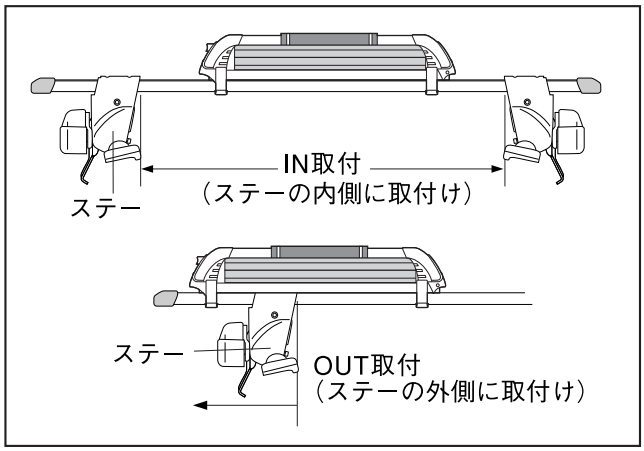


3 ロックカバーを上に押し上げる（キー側のみ）。



4 リリースボタンを押しながらバックル（1セット、2ヶ所、計4ヶ所）を倒して、リングをホルダーから外す。

準備 3 取付位置を決め、ホルダーの高さ調整をする

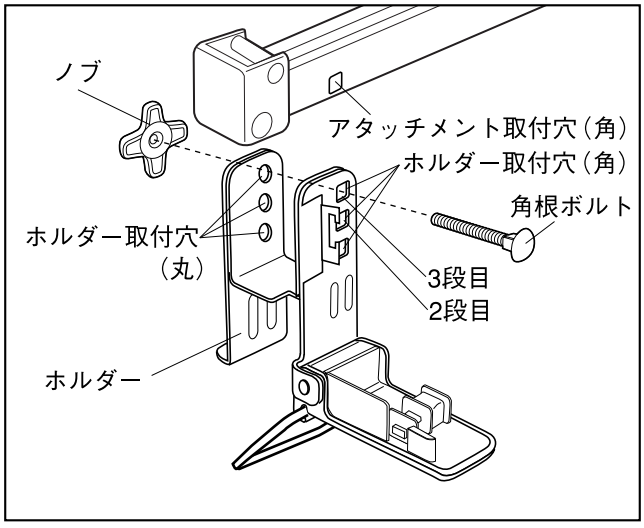


1 下記の表に従い、取付位置を決め、ホルダーの高さ調節をする。

取付位置	ステーセット	高さ調節
IN取付	全てのステーセット	必要なし
OUT取付	IN-AR IN-AD IN-AU IN-MR IN-TR	必要なし
	IN-SU IN-SD IN-SDG IN-SR IN-MD IN-HD IN-KD1 IN-RR	**2**の方法で調整する

参考

バインディングがクルマのルーフに当る場合は、**2**の手順でホルダーの高さ調整をしてください。



2 ホルダーの高さ調整方法

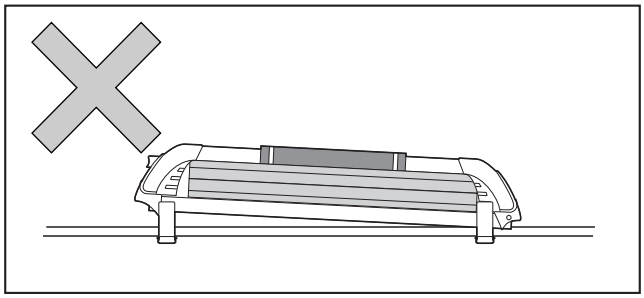
① ノブを回して外す。

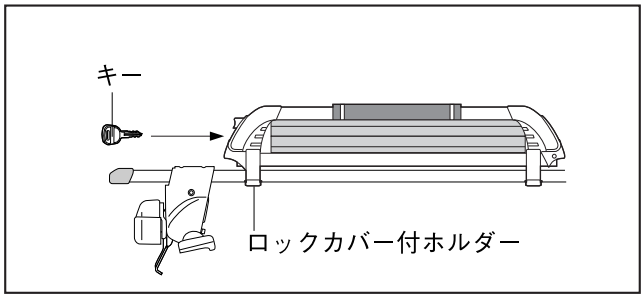
② 角根ボルトを抜く。

③ ホルダーの取付穴形状とアタッチメントの取付穴形状が合っているか確認する。

④ ホルダー取付穴の2段目もしくは3段目に角根ボルトを通す。

⑤ ノブで確実に固定する。



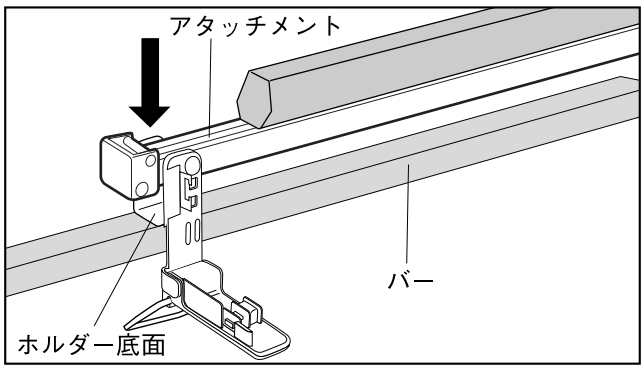


⚠注意

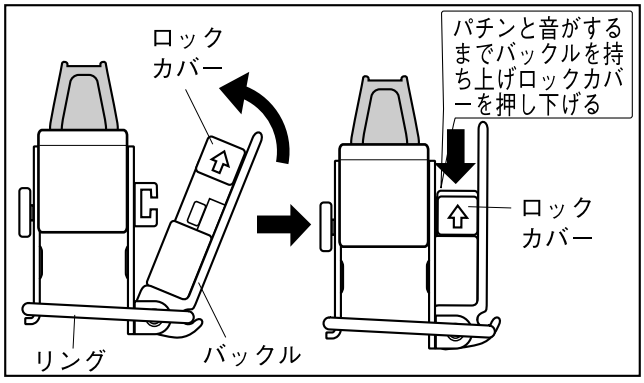
●ホルダー取付穴は、左右両方とも同じ高さで取付けてください。
高さが違うとホルダー部が損傷するおそれがあります。

●ロックカバーのあるホルダーは、必ずキー側に取付けてください。
キー側に取付けないとロックを解除されるおそれがあります。

取付 1 アタッチメントをバーに取付ける

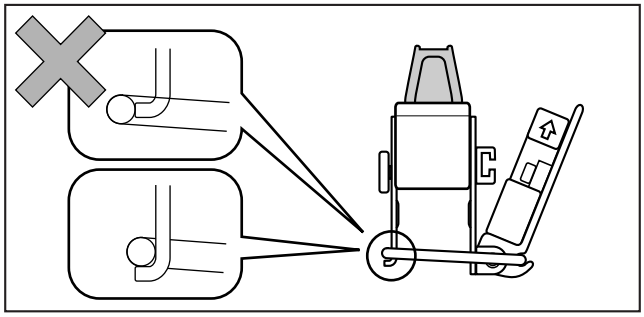


1 アタッチメントをバーに載せホルダーの底面がバーの上に当るまで押し付ける。



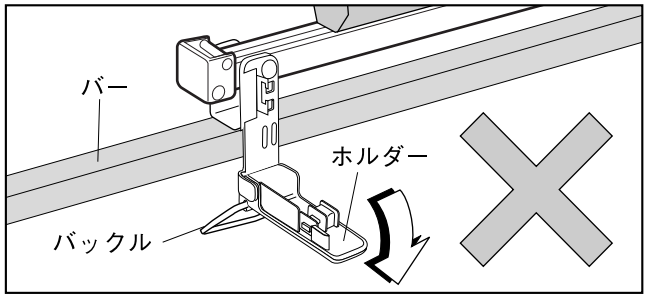
2 リングを引っ掛け、バックルを「パチン」と音がするまで持ち上げる。

3 バックルが確実にホルダーにロックされていることを確認して、 ロックカバーを押し下げる。



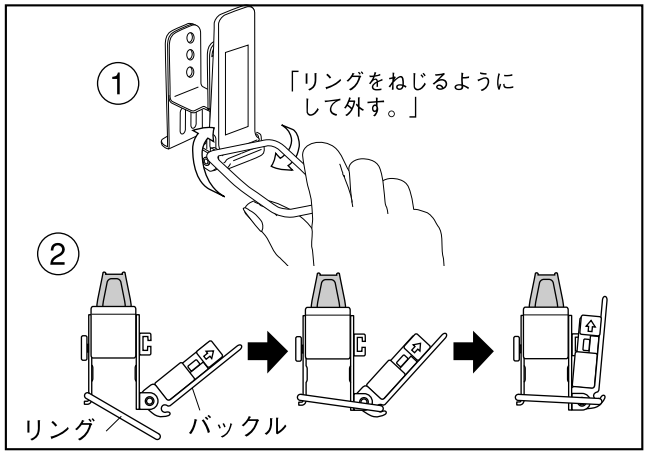
⚠注意

リングは図のように確実にホルダーに引っ掛けてください。
リングをホルダー先端部の端面に掛けバックルを持ち上げるとホルダーが破損するおそれがあります。



⚠注意

バックルを解放状態で無理に下に押し下げないでください。
ホルダーが破損するおそれがあります。

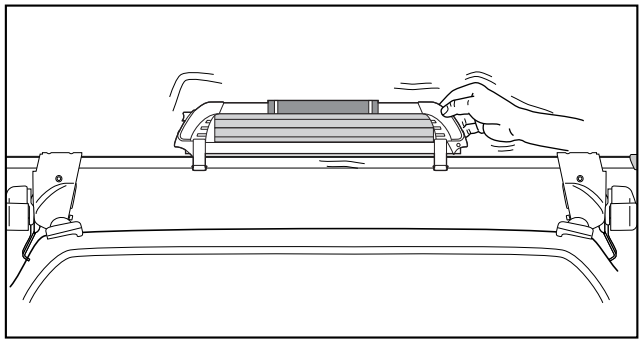


参考

ルーフとバーの間隔が狭くリングが掛けられない場合は、下記の手順で作業を行ってください。

①アタッチメントをバーから降ろし、リングを外す。
②再度アタッチメントをバーに載せ、左図のように取付ける。

取付2 アタッチメント取付後の確認



1 前後のアタッチメントを前後・左右・上下にゆすり、ノブやバックルのユルミによるガタツキがないか確認する。

使用方法

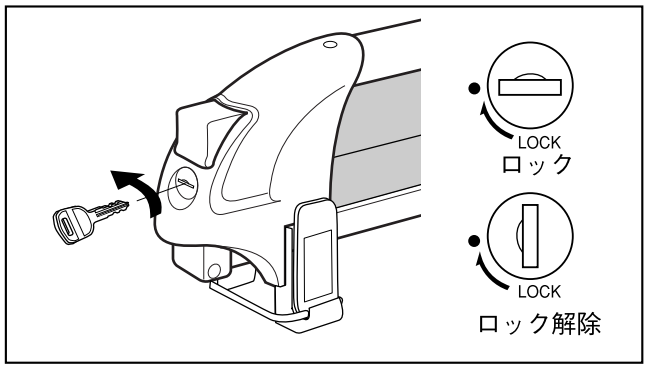
使用1 積載前の確認をする

1 積載物が裸状態、スキーケース、保護用ビニール袋を使用してないか確認する。

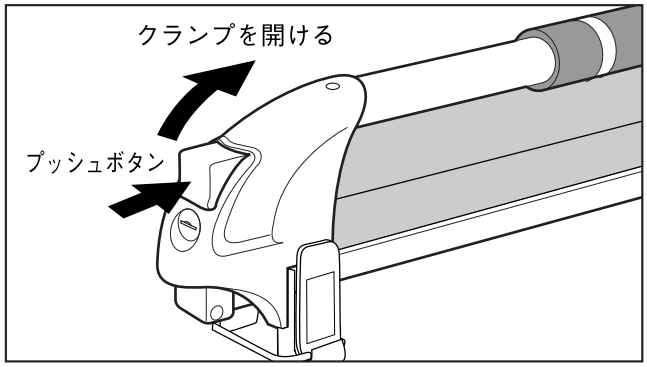
2 積載物、積載量を3ページの表で確認する。

使用 2

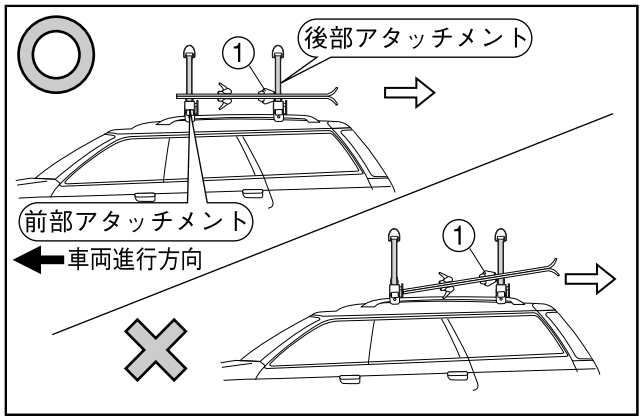
積載する

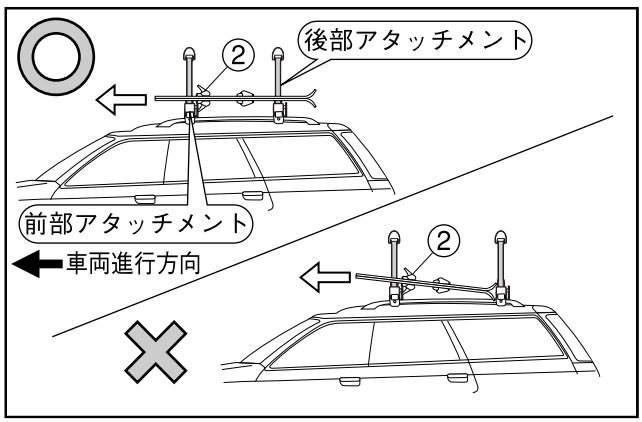


1 カギ穴にキーを差込み、“左”の方向に回してロックを解除する。



2 プッシュボタンを押しながら上方にクランプを押し上げてクランプを開ける。





3 スキーまたはスノーボードが積載可能であることを、次の手順で確認する。

積載可能なスキー・スノーボードの確認手順

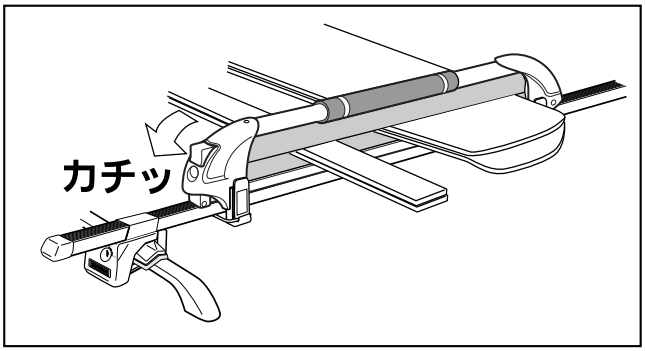
① クランプアームを開けた状態で、スキーまたはスノーボードのテールを進行方向に向けてキャリアに載せる。

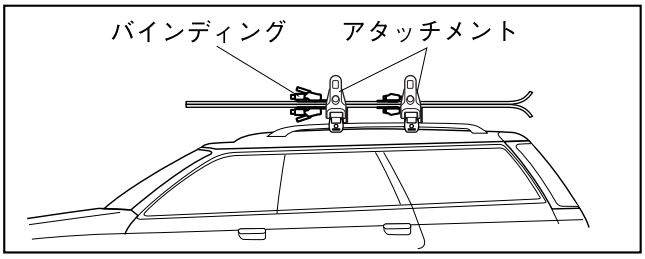
② 後部キャリアにバインディング ① が当たるまでスキーまたはスノーボードをスライドさせる。

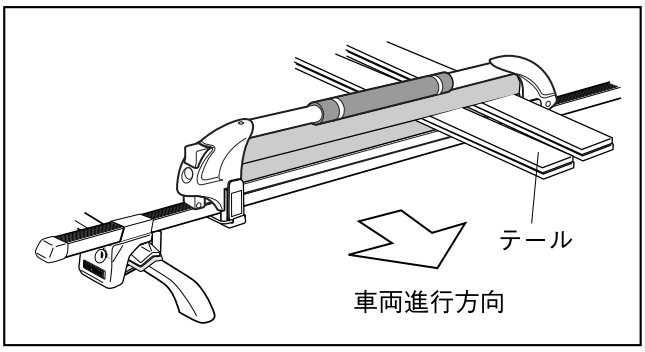
③ スライドさせた結果、前部キャリアからスキーまたはスノーボードが外れる場合は、そのスキーまたはスノーボードは積載しないでください。

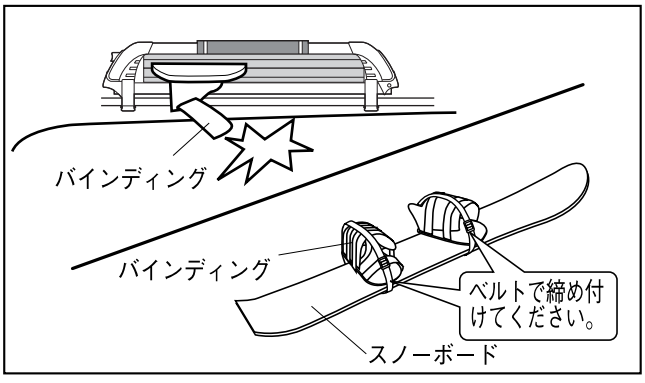
④ 上記の確認で外れない場合でも、必ず続けて前部キャリアにバインディングが当たるまで ② スキーまたはスノー ボードをスライドさせる。

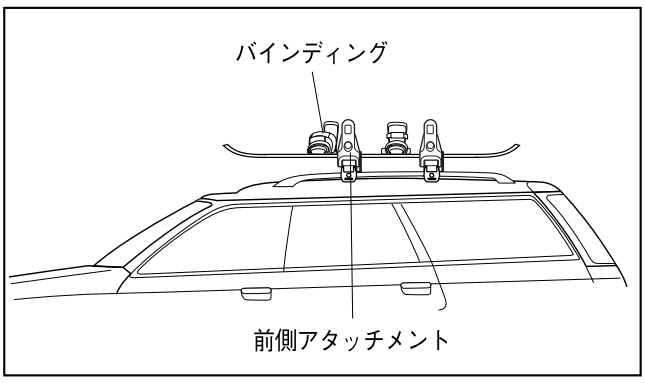
⑤ スライドさせた結果、後部キャリアからスキーまたはスノーボードが外れる場合は、そのスキーまたはスノーボードは積載しないでください。











4 スキー、スノーボード、ストックを下記の手順で積載してクランプを「カチッ」と音がするまで閉じる。

参考

スキーをおろす時は、手でクランプを下に押しながらプッシュボタンを押すと、簡単にクランプが開きます。

参考

バインディングが前後アタッチメントの間に入らない場合は、片方のバインディングを前後アタッチメントの間から出して積載してください。

スキーの積載方法

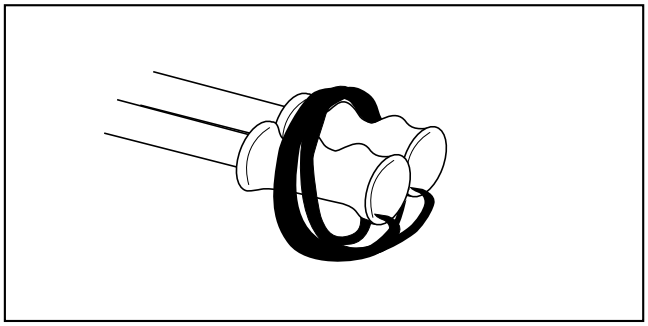
1）スキーを合せて、テールを車両の進行方向に向けて積載する。

スノーボードの積載方法

1）バインディングを下向きにして積載する場合は、バインディングがルーフに当らないようにベルトなどで固定して積載する。
2）バインディングを固定してもルーフに当る場合は、アタッチメントの高さを調整（取付方法参照）する。
3）高さを調整してもバインディングがルーフに当る場合は、積載を中止するか、バインディングを上向きにして積載する。

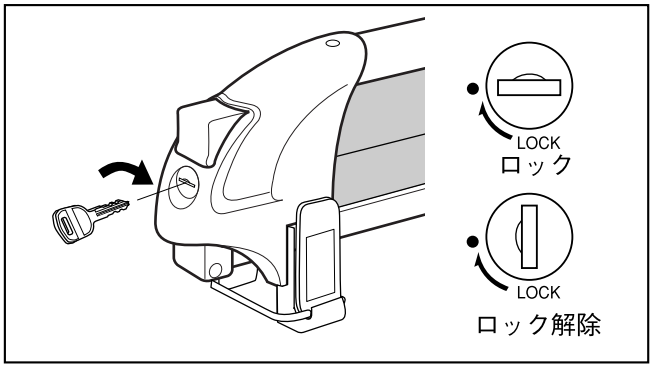
参考

- バインディングが前後アタッチメントの間に入らない場合は、片方のバインディングを前側アタッチメントの前方に出し、出したバインディングを前側アタッチメントに当たる位置に積載してください。走行によりスノーボードがずれる場合があります。高速走行前には必ずバインディングが前側アタッチメントに当たる位置に積載されているか確認してください。
- スノーボードは、1台だけでも2台合せても積載できます。



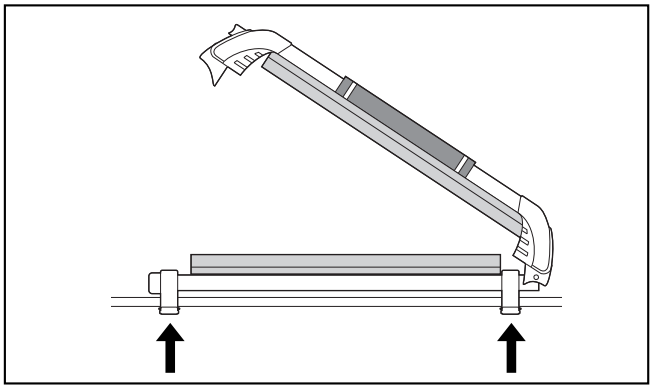
ストックの積載方法

ストックのベルトがルーフに当たらないようにグリップなどにからめて固定してから積載する。



5 キーを差込み、“右”方向に回してロックし、キーを抜く。

使用3 走行する

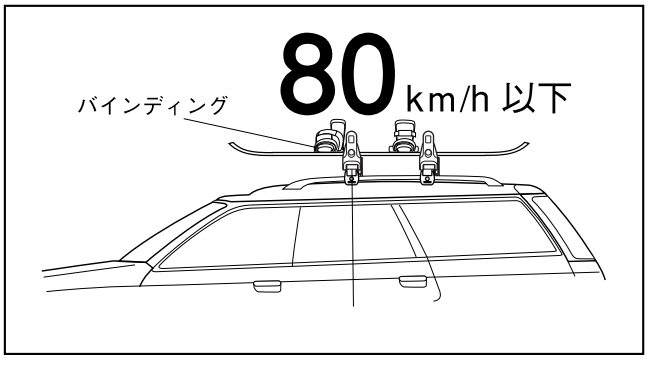


1 走行前の準備をする。

⚠警告

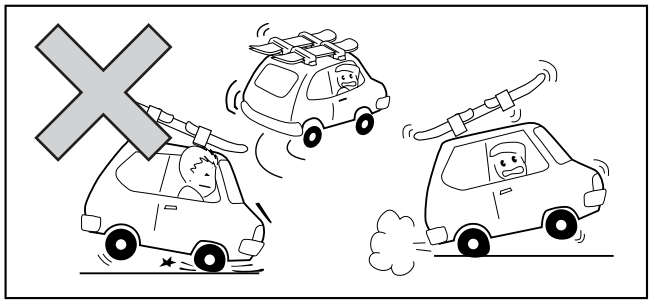
走行前に必ず前後アタッチメント合せて 4ヶ所のバックルが確実のロックされていることを確認し、積載物を載せて高さ調整ノブにユルミがないように増し締めしてください。

2 スキー、スノーボード積載に適した走行をする。



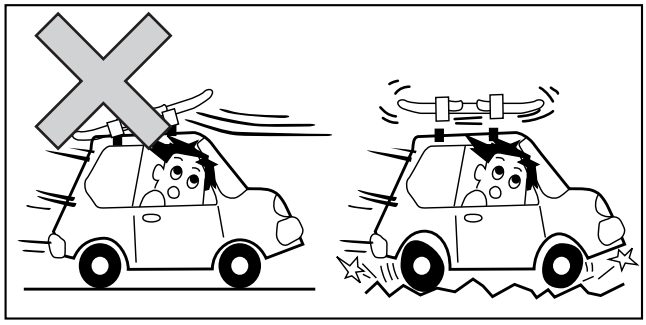
⚠警告

スノーボード積載時、バインディングが前後アタッチメントの間に入らない場合は、片方のバインディングを前側アタッチメントの前方に出し、出したバインディングを前側アタッチメントに当たる位置に積載し、必ず80Km/h以下の速度で走行してください。
走行によりスノーボードがずれる場合があります。高速走行前には必ずバインディングが前側アタッチメントに当たる位置に積載されているか確認してください。



⚠警告

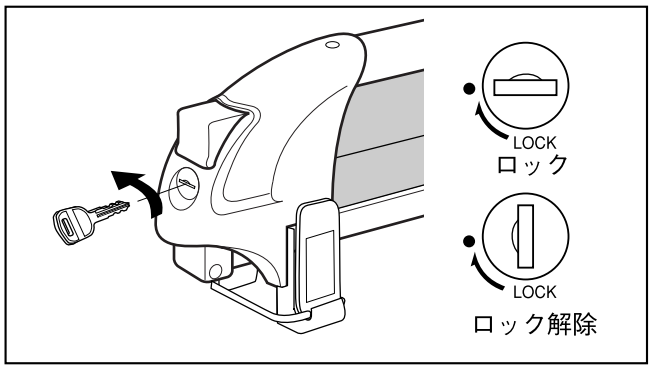
法定速度を守り、強風時や悪路では速度を落してください。



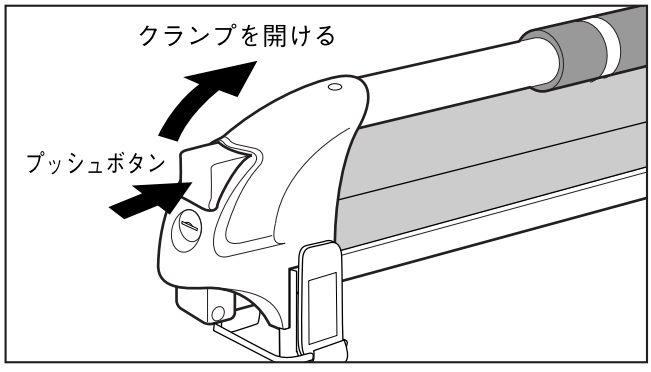
⚠注意

急発進、急ハンドル、急ブレーキはなるべく避けてください。また、やむを得ず無理な走行をした場合は必ずキャリアの取付状態を確認してください。

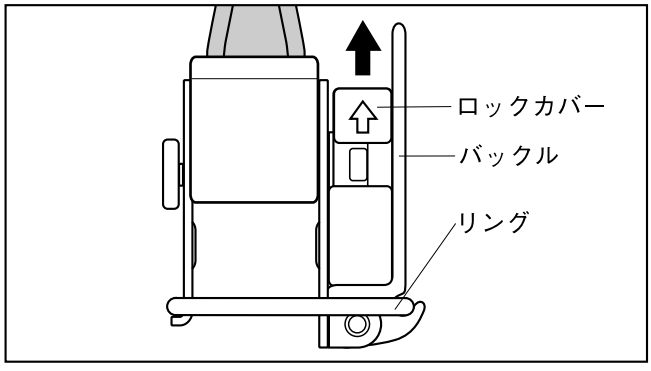
使用 4 アタッチメントを取外す



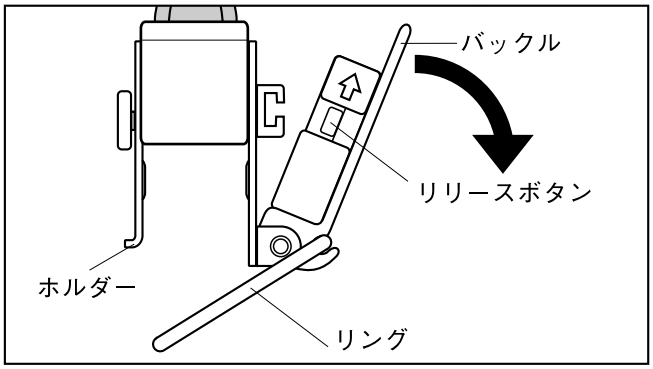
1 カギ穴にキーを差込み、“左”の方向に回してロックを解除する。



2 プッシュボタンを押しながら上方にクランプを押し上げてクランプを開ける。

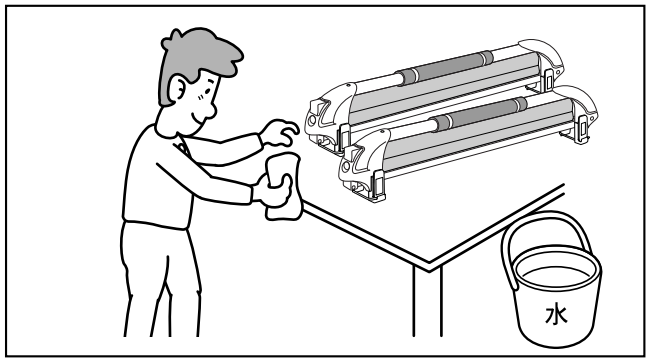


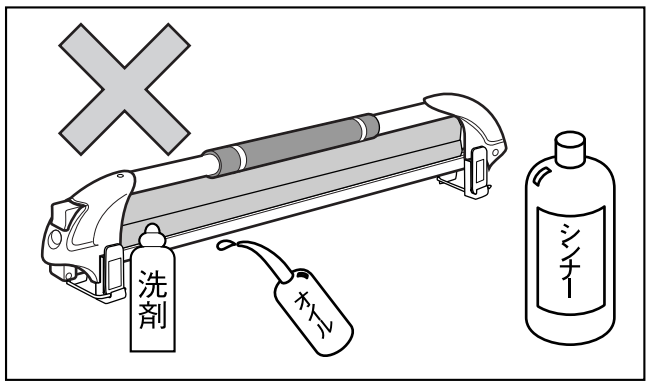
3 ロックカバーを上に押し上げる(キー側のみ)。



4 リリースボタンを押しながらバックル（1セット、2ヶ所、計4ヶ所）を倒して、リングをホルダーから外す。

日常のお手入れ





1 水で汚れを落とす。

2 水を含ませ固く絞ったタオルで汚れを取除く。

3 日陰でよく乾燥させる。

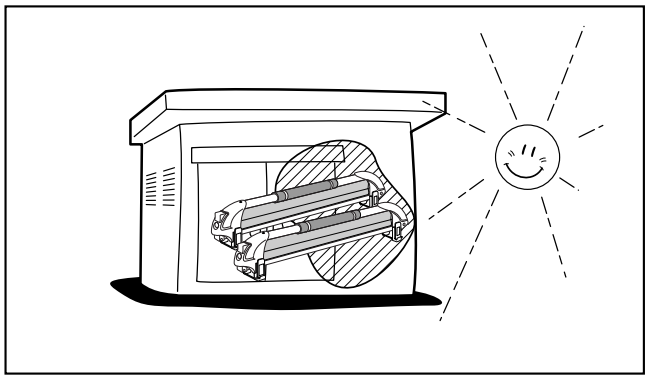
⚠注意

本体の変色、ヒビ割れの原因になりますので下記の事項を守ってください。

- ●洗剤（特にアルカリ性洗剤）やワックスは使用しないでください。
- ●シンナー等の溶剤を使用しないでください。
- ●ビスやボルトへの給油はしないでください。

保管方法

アタッチメントを保管する



1 アタッチメントを清掃し、各部に異常がないかを点検をし、直射日光の当たらない乾燥した屋内に、保管する。

⚠警告

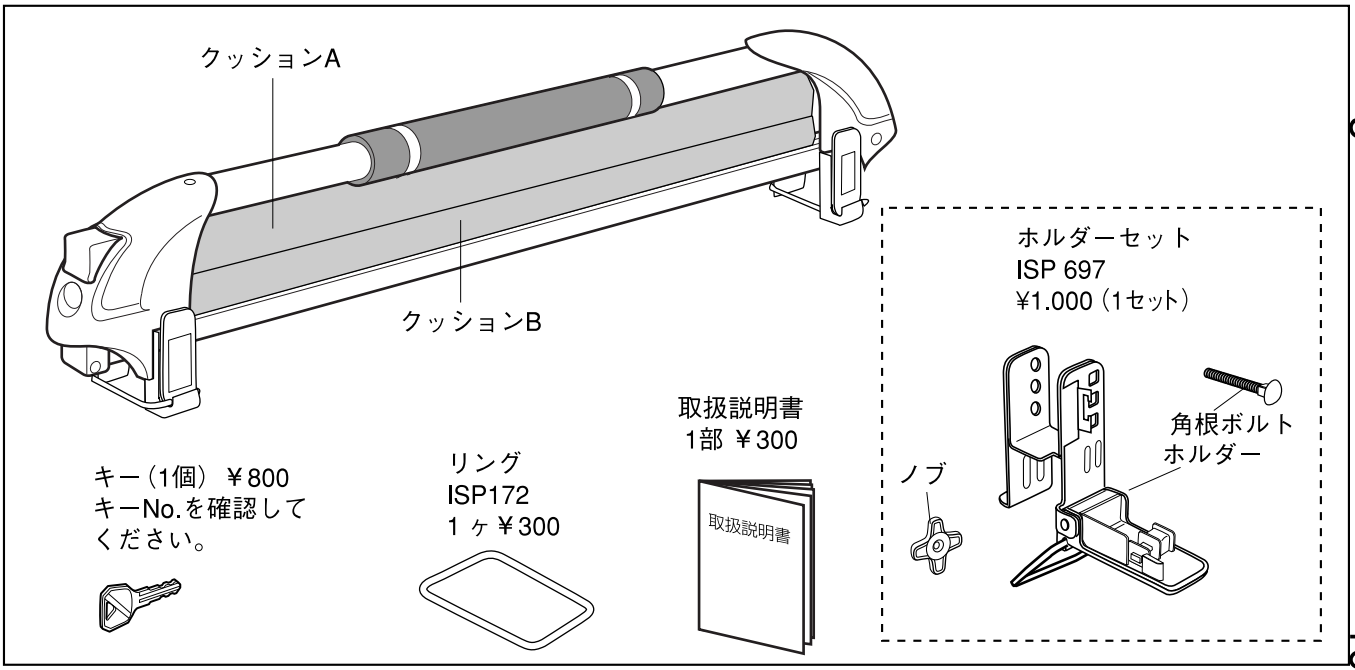
部品は、アタッチメント本体に組付け、キーは袋にいれてアタッチメントといっしょに保管すると便利です。
アタッチメントを使用しない時は、雨や紫外線などによるサビや歪みなどを防ぐために、車両から外して保管してください。

純正補修パーツのご案内

本品には下記の純正補修パーツがあります。お求めの際には、アタッチメントを購入された販売店にパーツNo.またはパーツ名を指定してご注文ください。

参考

●本書に記載する価格には消費税は含まれておりません。
●本品及び純正補修パーツの仕様と外観は改良のため予告なく変更することがあります。



。す